

JAPANTRIP2015

【JAPANTRIP2015 の目的】

JAPANTRIP2015(以下、本事業)は日本・中国人学生が寝食を共にすることで、一歩踏み込んだ密な交流を実現させ、様々な協同活動の中で切磋琢磨することにより「本音」を語り合える信頼関係構築の場を創出することを目的としている。そのために単日での交流企画ではなく、長期型の合宿形式を取っている。

また、特に本年度は「メディア」を大きなテーマに据え、事業を行う。10年ほど前に比べると、民間における両国関係は随分と活発になってきた。一方で、いまだ文化の違いや、わずかな誤解・先入観から生じるトラブルが散見される。このようなトラブルが起こるのはどうしてなのか。日本には多くの中国人が生活しているが、実際に彼らと接点のある日本人はどれほどいるのか。これは、日中双方に言えることだが、多くの人々はインターネットやテレビ、新聞などの報道から得られる情報のみでお互いのイメージを作っているのではないだろうか。私たちは本事業を通して、報道がどの程度正しく情報を発信しているのか、また両国の国民感情にメディアがどのような役割をはたしているのか、などを日中両国の学生に素肌で感じ考える機会を提供したい。

【本事業の概要】

本事業は、中国（北京・上海）と日本（関東・関西）各支部からの参加者とスタッフで構成される10日間の長期型交流事業である。開催地は、中国からの来訪者が近年増加している京都である。実際に観光に訪れている中国人や日本人に、様々な意識調査をおこなうため街頭インタビュー実施し、その結果を踏まえて「観光」「SNS」の二題について参加者同士による討論会を2回に渡り行う。討論会に付随し、関係する業種の企業で見学を行い、営利活動の中での日中に関する声を頂く。また、学生の街である京都の地利を存分に生かし、日本人大学生・中国人留学生を交えた交流会や日本人一般家庭の暮らしを体験してもらう家庭訪問を行う。事業終盤には参加者による成果発表会を行い、合宿で得たことを外部に向けて発信する場を設ける。

本事業実施に当たり、開始前には複数回の事前勉強会、終了後には各支部の事後報告会を各地で実施し、継続性のある一連の流れの中で企画を行う。

【本事業の日程】

8月15日	各支部移動、順次京都へ集合
16日	フィールドワーク・街頭インタビュー
17日	家庭訪問
18日	第一回討論会※①
19日	企業見学※②
20日	第二回討論会
21日	京都学生交流会
22日	成果発表会※③
23日	京都散策
24日	各支部移動、順次帰途へ

※①討論会

2度にわたる討論会は「観光」「SNS」の二つの議題に沿って、並行して行う。1度目の討論会でそれぞれの事実確認や疑問提起を行った上で企業見学に赴き、発生した疑問を企業の方に尋ねてみる。2回目の討論会は社会人の方からの意見を踏まえたうえで、自分たちにどのような事が求められているのかを判断する。2つの議題設定は、ともに「メディア」という本事業のテーマに関連したものである。

※②企業見学

新聞社・インターネットニュース会社など報道関係の企業を見学先として複数検討中。日本や中国に関連した報道がどのようななされているのか等のお話を伺った後で、参加者からの質問に答えていただく形式で意見交換会を行いたい。訪問先は読売新聞大阪本社を予定中。

※③成果発表会

「SUMMERBIRD」と名付け、1部では合宿の期間内で学んだこと等をJAPANTRIP2015参加者から、来場者の方々に発表してもらおう。2部では参加者と来場者の自由な交流会を行い、双方向での交流が可能な発表会とする。SUMMERBIRDは一般のイベントとして数か月前から広報・宣伝し、100名程度の来場者を見込む。会場は京都市国際交流会館を検討中。